

五重並台

五重中 学校だより

第8号

令和3年10月11日

(文責 高木)

まわりからも、マイ
ナスの反心が返って
きます。逆に、自分
のまわりのでき事を
プラスにとらえよう
とすると、喜びや感
動をあげることができたりし
ます。

作用と反作用

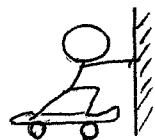
中学3年生の理科で、作用と反作用ということを学習します。

例えば、私達が教室の壁をすくおした時、その壁は動きません、しかし、実は壁をすくおする力と同じだけの力が壁から効いているのです。このとき、私達が壁をすくおする力を「作用」といって、壁から効かえされる力を「反作用」といいます。この二つの力がつりあっているので壁は動きません。



壁をすくおする

かなあと思っ
かもしれませ
んが、もし壁
から効かえされる力がなかつたら、壁はおされるがまま、後にズルズルとさがっていきます。また、もし、この壁をすくおする



スケボーに乗る

が、スケボーに乗っていたらどうでしょうか。壁を効かした力に対して、おしかえされる力が効いて、スケボーが壁の方にスーッと動くことになります。

このように、物体には、作用する力があれば、それに対して反作用をする力が生まれるのです。

私は、常々、この作用と反作用というのは、単に理科の法則だけでなく、人間の生活にもあてはまる法則だと思っています。例えば、「最近、おもしろくないな」と自分からマイナスの考え方で物事に接していると

自分の生活の時間をどう過ごすのか？、せつ、かくなら、自分からいい作用をしかけて、いい反作用を受けるとこの風にしたいものです。日々の授業や部活動でも、自分からいい作用を出してみよう、さつと

いい反作用が生まれるはずですよ。その他、どんな難しい事ではありませんが、元気にありさつするでもいいでしょう。かんばつという気持ちをもつて、夜寝るでもいいでしょう。すこし早起きしてみるでもいいでしょう。自分でできる、自分からのいい作用をおこなってみるのです。みなさんが、かんばつたか、ステキな反作用がおこるはずですよ。

中体連駅伝大会に向けて

三年二組 尾道

すし、そうやって、より高みへと人は成長するものだと思います。

私たちは中体連駅伝大会選手一同は、夏休みの早朝から練習に取り組んできました。具体的に、朝の七時半には練習を開始し、約3〜4キロメートルほど走りました。雨が長く続いた時やとても暑い日もありました。きつい練習もあったけど、同じ部の3年生と励まし合い、1・2年生に支えてもらったり、先生に指導や応援してもらったりして練習に取り組むことができたと思います。

10月12日の大会では、今まで共に頑張ってきた1・2年生の後輩たちとともに全力をつくし、選手全員の思いがしみこんだタスキをしっかりとつなぎ



悔いも残さない全集中の走りです。3年生にとって最後となる中体連大会を締めくくりたいと思います。

実は、先日、試走に行ってみました。走ったコースには、平坦な道や急な坂道がありました。その中でも、坂道は、とても急な斜面で、とてもきついです。ですが、チームで練習したので、勇気ももらい、頑張ることができました。

最後に、今日まで私たちの練習を見守り、指導、協力いただいたお父さん、お母さん、心掛けてくれた生徒のお父さん、お母さん、感謝の思いをお伝えして、当日を頑張る誓いの言葉とさせていただきます。

自転車保険義務化



十月一日より県の条例で自転車の保険加入が義務化されました。各御家庭で、保険への加入の確認をお願いします。

※ 一・二年生の社会科担当の原田

先生が赴任されました。

一・二年生の社会科の授業における態本舟の使用率が大幅に削減されているようです。